

高速走行型道路探査

「みち検 Radar」

(位相検出型レーダー)

交通規制無しでの高速調査

維持管理、補修に必要な

道路関連データの収集に!!



「みち検 Radar」の特徴

【計測速度が速い】

他交通に対して影響が少ない速度で走行が出来ます。連続走行であれば**1日5km以上**の計測が可能です。

【交通規制が不要】

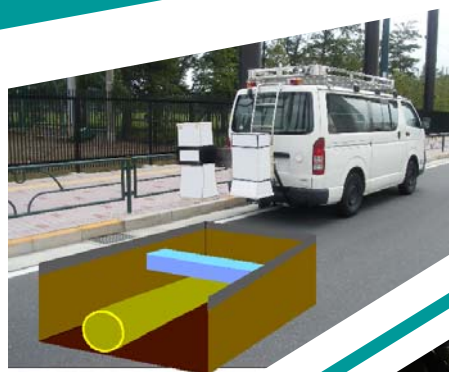
高速計測のため、規制が不要です。大幅に**コスト削減**を図る事が出来ます。

【高い運動性・走行性】

牽引タイプ、バスタイプと比較し車両長が短く、路地等の細い道の計測も容易です。**護岸道路**、敷地内等においても車両走行可能場所であれば計測が可能です。

【安全性の向上】

探査車内に操作ユニットを配置。計測中は車外での作業を必要としないため、**安全に調査**が行えます。



非接触タイプは、計測速度が速く、高速道路上のアスコン厚調査に適しています。



牽引タイプのレーダーもございます。

軽自動車にも取り付け可能で狭い路地でも使用が出来ます。

探査用途

- 路面下空洞探査
- 埋設管探査

- アスコン/舗装厚調査
- 舗装構造調査

<http://www.walnut.co.jp> E-mail:sale@walnut.co.jp

〒190-0002 東京都立川市幸町 1-19-13

株式会社ウォールナット TEL (042) 537-3838
FAX (042) 537-3820



その他高速走行型道路探査（規制不要）

● 高機能（排水性）舗装空隙目詰まり調査

高機能（排水性）舗装は、舗装内に異物が詰まると本来の機能が低下するため、十分な効果を得ることが出来ません。そこで本調査を実施し、詰まり状況を把握することで、**機能回復の作業計画**を的確に立案することが可能となります。

計測は **NEXCO (旧 JH)** との共同開発した牽引式探査システムを使用いたします。（**JH新技術登録 200100104 号**）



● 路面下剥離調査（赤外線システム）

最新式赤外線撮影システムにより、**高速で連続的に撮影が可能**です。また、可視画像撮影を併用することで、赤外線画像との比較が行なえ、異常箇所を容易に判定することが出来ます。

道路や空港路面に限らず、**側面方向、上方へのカメラ設置も可能**です。ので擁壁面、トンネル側面への活用も可能です。



路面下詳細確認調査のために

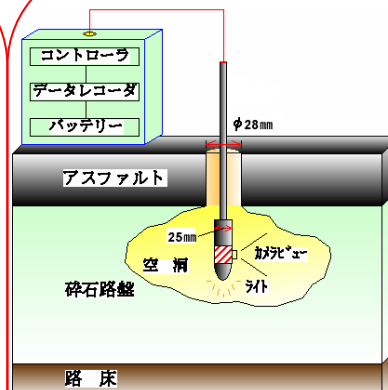
WALNUT では車両搭載式レーダーの他に、手押し型レーダーも取り扱っております。車両進入不能箇所、詳細範囲調査でご利用いただけます。また、空洞発見時の空洞内部確認撮影もあわせて行っておりますので御用命下さい。

ハンディ型レーダー

詳細な探査対象物範囲の推定を行いません。また、車両が通行できない箇所や壁面、護岸ブロックでの使用も可能です。空洞発見時は併せて空洞内部撮影を行うと、より効果的です。



空洞内部確認撮影



削孔は破壊を最小限に防ぐ為、小口径ドリルを使用します。カメラは横方向にレンズが向いており、空洞の奥行きが確認できるようになります。

